

令和2年度とちぎ夢ファーレ 実績報告書 (HP用)

団 体 名： コドモノミカタねっとわーく
代 表 者 名： 日里 都志恵
会 員 数： 12名
連絡先(電話)：
メールアドレス：
団体HPのURL：

○この活動を始めた動機(目的)

2018年に足利市で開催された「子どもの権利条約フォーラム2018」に参加した数名が、子どもの権利についてもっと考えたい、子どもの権利条約を地域の人にももっと知ってほしい、子どもの権利を根幹に子どもとの関係や生活を築いていって欲しいという思いから、この活動が始まりました。

○実際に令和2年度に行った活動とその成果(結果)

月	活動内容
7	オンラインおしゃべり会開催 (テーマ：コロナ禍と親のモヤモヤ・子どものイライラ)
8	オンラインおしゃべり会開催(みんなの“宿題”問題)
9	オンラインおしゃべり会開催(学校生活の困りごと～どうサポートする?)
10	西野博之さんのお話視聴会(子どもの居場所～いつでも、どの子にも～)
11	オンラインおしゃべり会開催(子どもの居場所ありますか?)
12	オンラインおしゃべり会開催(子どもにイラッとする瞬間)
1	オンラインおしゃべり会開催 (コロナ禍の1年、どう過ごしてきましたか?)
2	オンラインおしゃべり会開催 (コロナ禍での進級・進学を見つめながら語ろう)

○良かった点や苦労した点

【良かった点】

- ・オンラインであっても、毎月定期的におしゃべり会を開いて、継続的な活動ができました。「家庭を子どもの居場所に」という大テーマの下、同じような環境、悩みを持つ人と繋がったり、各回のテーマに沿った深い話をすることができました。
- ・オンライン開催により、市内や県内だけでなく県外からの参加者もあり、人との繋がりが広がり、それぞれの自治体の教育事情などを知ることができました。また、これまで公民館などでの集まりに参加できなかった方々で、オンラインの方が参加しやすいという方もいらっしゃいました。
- ・西野博之さんのお話を聴いた方々から、とても良かったという感想をたくさんいただきました。長年子どもたちと関わり続け、子どもの居場所であり続けている西野さんが、活動の中で感じたことや関わった子どもたちの成長の話聴いて、とても励まされました。視聴会の後では、西野さんのお話をしっかり振り返ることもでき、コロナ禍でストレスの多い日常の中、家庭が子どもの居場所であり続けるための力となったと思います。

【苦労した点】

- ・コロナ禍により、当初計画していた内容からの変更を余儀なくされ、6月頃にメンバーで話し合っ、地域公民館で予定していたおしゃべり会をオンラインで実施することにしました。始めた当初はオンラインでの操作に不慣れだったため、戸惑う点も多くありました。
- ・10月に予定していた講演会もオンラインで行うことになり、大人数が参加するオンライン講演会の経験がなかったので、どういう風にしたらいいのか、時間をかけて話し合いました。講師の西野先生の都合が合わず、事前収録したものを編集し、ZOOMでストリーミング視聴してもらったのですが、編集には予想以上に時間がかかり、視聴会当日もホストPCのスペック不足なのか、途中で何度もフリーズしたり、ホスト業務に支障が出ました。

○これからの展望

2021年度もとちぎ夢ファール事業による補助を受けられることになり、9月下旬に明橋大二先生のオンライン講演会を予定しています。明橋先生は著作やメディアへの出演などにより子育て世代には著名な方で、子どもの権利条約にも精通しておられます。また、11月には、ミニフォーラムとして、栃木市内で活動をしている方々のお話を聴く機会を計画しています。また、著名な方々の話を聴くだけに終わらず、普段のおしゃべり会などを通して、栃木市内や周辺地域の子どもたちや子育て中の方々の悩みを聴いたり話し合うなど、地域の子育て・子育て環境の改善に関わっていかれたらと思っています。